
生天目健蔵理事長への追悼

生天目さんとの出会い

農林漁業金融公庫理事 畑中 孝晴

生天目さんに初めてお目にかかったのは私が畑作振興課長時代の昭和55年の秋、いも類懇談会の席上だったと思います。当時、既に70歳を越えておられましたが大変お元気で「課長、この頃の農林省はいものことなど忘れてしまったのかね。少しも力を入れてないではないか」と大きな声でまくし立てられ、人並以上におしゃべり人間の私もその迫力に圧倒される思いでした。

その後、諸類会館の活用をめぐる度々お目にかかりましたが、いつも弁護士としての緻密な論理と例のおとぼけの語り口との狭間で右往左往させられたものでした。しかし、方向が決まると実に迅速に事を進められ、58年12月後任の吉田課長の時に現在の「財団法人いも類振興会」が誕生しました。

この協会をつくって頂いたお蔭で地味ないもの世界にあっても定期的に情報誌が発行され、世に出る機会の少ない論文等が刊行されるようになりました。中でも「おいも全書」などは大変ユニークで、協会でなければ出来ない本だと感心させられました。

生天目さんは戦前戦後を通じて弁護士として、また経営者として多方面でご活躍になりましたが、農業分野では異色の方でした。最後まで協会の機関誌に健筆を振っておられま

したが、農業の世界にどっぷり浸っている私共とは物をみる角度が違うので毎号楽しみながら勉強させて頂きました。

昭和60年秋に勲章を授与された時には、「いやー、こんなことは……」と照れくさそうに頭をかいておられた村夫子然とした姿も忘れ難いものがあります。理事長とはいっても長年無給同様でお務めを頂き、4年程前には故郷の茨城県金砂郷村に立派な公民館を寄付される等、明治生まれの生きざまをみる思いでした。

最近はこちらの巾広い経歴と強烈な個性を持った方が少なくなってきたのは寂しい限りです。生天目さんからみれば子僧っ子のような私でも、財団改組への糸口をつけてくれたからと退官した後も近況報告に来られたり、ご馳走になったりと何かと心くばりをして下さいました。お付き合いは10年を越えましたが、私には到底把え切れない方でした。

心からご冥福をお祈りいたします。

異なった角度から“いも”を

財団法人いも類
振興会専務理事 秋元 喜弘

いも類振興会創立以来、また前身の財団法人諸類会館を含め、長年にわたり理事長であった生天目健蔵氏は平成5年11月22日、肺炎のため87歳で逝去いたしました。ここに生前の御交誼に対し厚く御礼申し上げます。

故理事長は堅実・地道をモットーとして会を運営し、農作物また食品として重要ないも

バレイショ増収一〇〇〇問答

■三百回余りの講演で、いも作従事者からいたいた千四百余の質問を整理し、これに回答。基本から植付け、収穫・防除までを解説し、厳しさが加わる現代農家に大きな指針を示す好著。元北大助教授・吉田稔著 定価七〇〇円 送料二五〇円

清薯源流の砦

■現在の種苗管理センターのいも作関係は、昭和二二年に創設された「馬鈴しょ原種農場」がその出発である。各農場の歴史と現況の報告書。いも類振興会編・定価七〇〇円 送料二五〇円

21世紀に向けてのいも作り

■生涯を北海道のバレイショ作に投入した著者快心の著作。その視野は需要者の品質志向から国際競争力まで、いも作従事者の今後の指針を示す。吉田稔著 定価六〇〇円 送料二五〇円

アンデスから食卓まで

■ジャガイモのふるさとアンデスから出発し、その料理法や品種の特性、栽培から食卓への供給までを、オールカラーで紹介。田中智著へ全改訂 定価五八〇円 送料一七五円

熱帯アジアの馬鈴薯生産

■東南アジアの馬鈴しょ生産の実態を、各国のレポートから翻訳した貴重な資料。わが国馬鈴しょ作に大きな示唆を与える。秋元喜弘著 定価八〇〇円 送料二五〇円

甘しょ・ばれいしょ・いも全書

■斯界の権威による今日のおいも百科。香川綾 監修 定価三五〇〇円 送料四五〇円

類の生産振興・消費拡大には定期刊行物による広報活動が最適と信じ、小冊子“いも類振興情報”の発行を企画し、現在まで38号を数えるにいたりました。

若い時代から頭脳が明せきで努力家であった理事長は弁護士となり、幅広い事例・多くの人に接することにより世の中を見る目が養われ、それに処する強固な信念をもつにいったと思われ、専門家とは異なった角度から“農業”“いも”を眺め、情報誌に、世の流れを論評する巻頭言を執筆し続けていました。また情報誌のほか、公益法人としても類の普及に役立つ書籍・小冊子なども折にふれて編集出版しており、これまた多くの方々のご利用をいただいております。

理事長を失った当会ではありますが、これからも、ともされたささやかな灯を消すことのないよう、いも類振興のため微力を傾けたい所存でございます。

どうか変りない御導き、御支えを下さいますようお願い申し上げます。

編集後記 長丁場にわたったウルグアイラウンドの結着には評価・批判ともありますが、いずれにしてもわが国産業は農業も含め、今後自力をたよりに歩むことになります。「敵を知り己を知らば百戦危うからず」のたとえのように、身のまわりを見直すとともに世界的視野をもつことが必要で、あるときにははたずさえ、あるときには競い合う柔軟さがのぞまれます。新しい年には、長く暗い景気低迷に一条の光明がさしこんでくれば、と念じております。

いも類振興情報 第38号

平成6年1月15日発行

発行所 財団法人 いも類振興会
東京都港区赤坂6-10-41
ウィップ赤坂303号室
電話 03-3588-1040
振替・東京3-110152
印刷所 交通印刷株式会社